

エコアクション21

# 環境経営レポート

令和6年度

(運用期間令和5年12月～令和6年11月)

## 松木産業株式会社



作成: 令和7年3月25日

# I. 事業概要

1. 事業所名 松木産業 株式会社  
代表取締役 松木 友哉
2. 所在地 〒808-0021  
福岡県北九州市若松区響町一丁目88-9  
TEL:(093)771-7828 FAX:(093)771-7836  
E-Mail matsukisangyou@mtks.co.jp
3. 事業内容 金属リサイクル業、金属加工業、産業廃棄物収集運搬業
4. 環境管理責任者 志水 丈治  
担当者 ○
- 6-1. 事業規模 設立 昭和61年12月15日  
資本金 1500万円  
従業員数 42名  
敷地 1360坪

	単位	R4年度 (R3.12月~ R4.11月)	R5年度 (R4.12月~ R5.11月)	R6年度 (R5.12月~ R6.11月)
売上高	百万円	1400	1689	1481
従業員数	人	38	43	42
床面積	m <sup>2</sup>	2658	2658	2658

事業年度 本年12月~翌年11月

## 6-2. 優良性評価制度の公開事項

### ① 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業				許可項目(事業の範囲)													その他									
都道府県及び 政令都市	積替保管		許可の年月日 有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴム屑	金属屑	ガラス屑及び陶磁器屑	鉱さい	がれき類	ダスト類(ばいじん)	13号廃棄物	紙屑	木屑	繊維屑	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件	
	有	無																								
福岡県	○		令和6年10月31日 令和11年10月30日	第059224号						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	積替保管なし 許可の条件なし

金属リサイクル量、784.3 t  
受託した産業廃棄物の収集運搬量、0 t

②保有車両 <<収集運搬車両>>

パワーローダー車 1台 15t

15tパワーローダー車



③その他 <<処理施設能力>>

天井クレーン（リフマグ）1基 4.5t

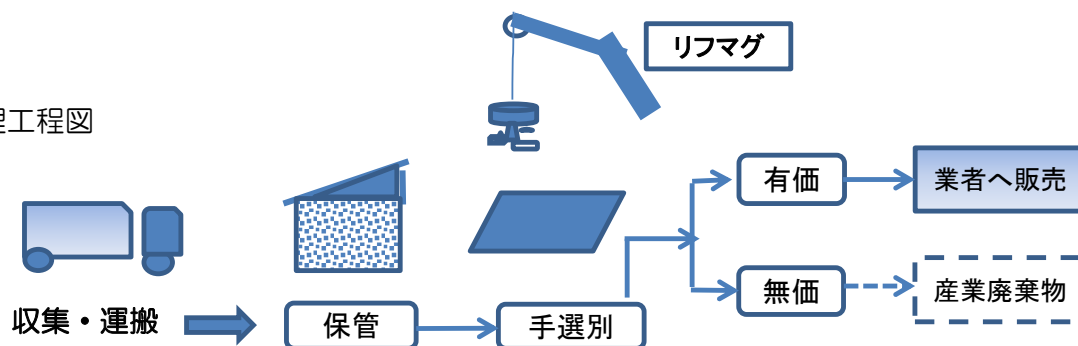
油圧ショベル 1台 0.7m<sup>3</sup>

フォークリフト 1台 1.5t

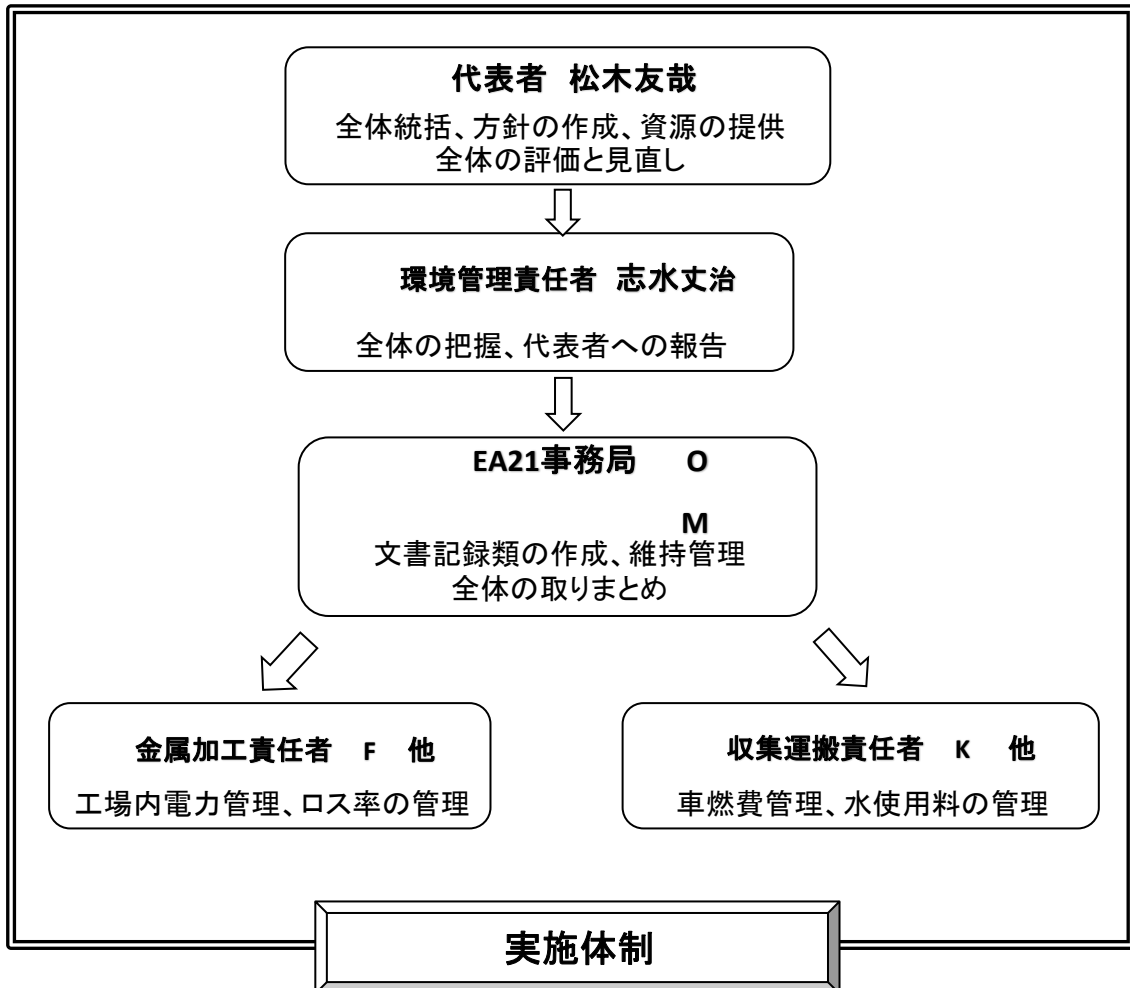
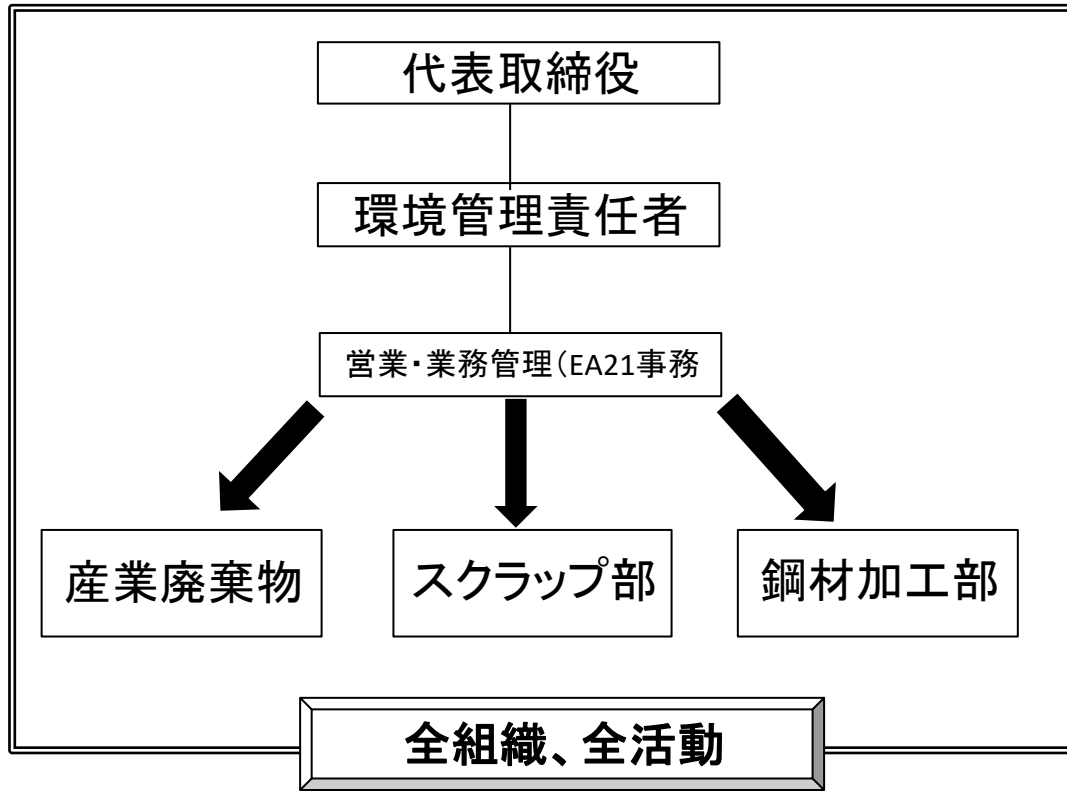
<<処理方式>>

手選別

④処理工程図



7. 認証登録の範囲



## 8.沿革

鉄のリサイクル業として昭和61年12月に設立。  
皆様の暖かいご指導とご協力得て歩んで参りました。  
平成5年には鋼材加工販売に取り組むべく工場を新設し  
平成15年さらなる高付加価値商品を目指し第二工場を新設  
平成19年に第二工場増築。  
平成27年に事務所新築  
平成27年に代表取締役変更  
小回りの効く、お客様、地域社会のニーズに沿う事ができ  
環境に対してもやさしい会社であるよう従業員一同努力致します。

## Ⅱ.環境経営方針

### 1.基本理念

現在、この地球上で進行している「環境破壊」。松木産業株式会社は『地球にやさしい企業』を目指し、本業である金属加工業と産業廃棄物収集運搬業を通して【省資源化・リサイクルの促進】を重点目標に掲げ将来にわたり人類が安心して生活できる地球環境を整えていけるよう尽力して参ります。

### 2.行動指針

松木産業株式会社は環境への負荷の低減の為、以下の項目について環境目標、事業活動を定め定期的な見直しを行い継続的な改善の促進に努めます。

- ①省エネ（電力・燃料）による二酸化炭素の削減
- ②水資源の節約
- ③廃棄物の削減、再資源化の推進
- ④地域の清掃活動の推進

\*以上を全社員に周知徹底し、一般に公開する。

『未来の地球の為に』という意識を常に持ち続ける。

\*関連する環境関連法の遵守を行います。

\*環境経営の継続的改善を誓約する

\*SDGsの取組を通して環境経営も行って行く。

令和4年6月16日 改定  
松木産業株式会社  
代表取締役 松木 友哉

## Ⅲ.当年度&中期環境経営目標

環境目標	単位	令和4年度 (基準年度)	R6年度目標	R7年度目標	R8年度目標	R9年度目標	R10年度目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/t	17.4	15.50 基準年R4年度 実績の11%削減	基準年R4年度 実績の12%削減	基準年R4年度 実績の13%削減	基準年R4年度 実績の14%削減	基準年R4年度 実績の15%削減
一般廃棄物総排出量削減	kg/t	0.249	0.222 基準年R4年度 実績の11%削減	基準年R4年度 実績の12%削減	基準年R4年度 実績の13%削減	基準年R4年度 実績の14%削減	基準年R4年度 実績の15%削減
水使用量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.0188	0.0167 基準年R4年度 実績の11%削減	基準年R4年度 実績の12%削減	基準年R4年度 実績の13%削減	基準年R4年度 実績の14%削減	基準年R4年度 実績の15%削減
地域環境活動	回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週

原単位は資材投入量 t とした。

購入電力の排出係数は日鉄エンジニアリングのR5年度の調整後排出係数0.653kg-CO2/kWhを使用。

\*調整後排出係数R5年度0.653kg-CO2/kWhをR10年度まで使用。

## Ⅳ.主要な環境経営計画の内容

### ①電気使用量の削減

- ・休憩時間は工場の照明は消灯する。
- ・室内の設定温度を決める。
- ・不要な時は機械の電源を切る。

### ②車燃料の削減

- ・アイドリングストップを心がける。
- ・エコドライブの励行
- ・配達ルートの見直し

### 2.廃棄物の削減

#### ①コピー用紙使用量の削減

- ・裏紙の利用。
- ・ペーパーレス化の推進。

#### ②残材のスクラップの削減

- ・家具の加工
- ・残材を現場で管理

#### ③再資源化の推進

- ・収集運搬後の廃棄物を有価と無価に分別する。

### 3.水使用量の削減

- ・水圧の調整をする。
- ・水を流しっぱなしにしない。

### 4.地域の環境活動への参加

- ・周辺地域の清掃



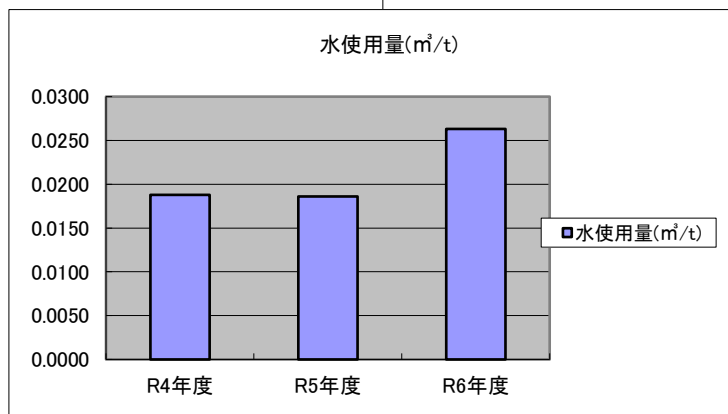
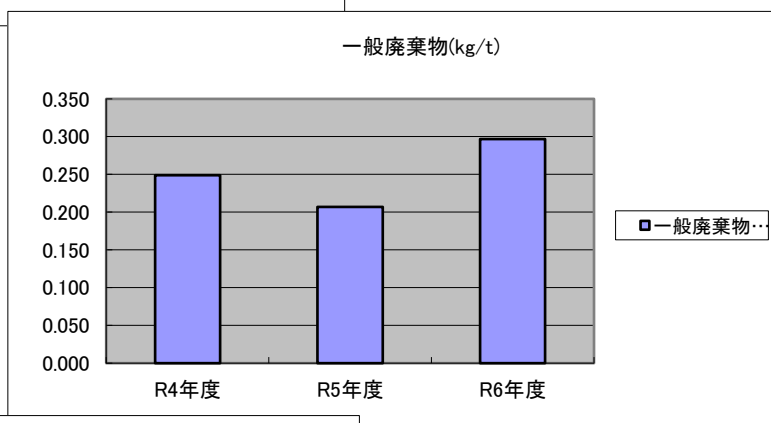
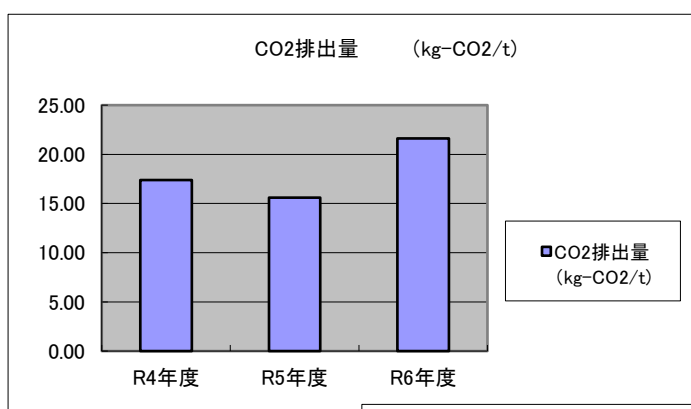
～清掃活動風景～

# V.環境活動の取組結果

環境目標	単位	R6年度目標	R6年度結果	達成度	SDGs関連
二酸化炭素排出量総量	kg-CO2		233,115		
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/t	15.50	21.60	72%	
一般廃棄物排出量削減	kg/t	0.222	0.298	74%	
水使用量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.0167	0.0259	64%	
地域環境活動	回/週	1回/週	1回/週	100%	

\*原単位は資材投入量 10798 t とした。

\*購入電力の調整後排出係数は日鉄インフラのR5年度の数値0.653kg-CO2/kWhを用いた。



## VI.環境活動の取組結果の評価

### 1.二酸化炭素排出量の削減

\*二酸化炭素排出量の削減は72%と目標達成できなかった。

夏季の空調、冬季のヒーターの使用による電気使用量の増加、  
営業車使用の増加によるガソリン使用量の増加が要因でもある。

節電やエコドライブの意識を強く持つよう心がける。

### 2.廃棄物の削減

\*廃棄物の削減は74%と目標達成できなかった。

分別の意識の向上と環境負荷が少ない商品の購入に努める。

### 3.水使用量の削減

\*水使用量の削減は64%と目標達成できなかった。

従業員数の増加も要因である。（R4年度より4名増）

節水の意識を持ち目標達成に努める。

### 4.地域の環境活動への参加

\*週一回の清掃活動をこれからも継続していく。

## VII.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標	単位	R6年度 (基準年度)	R7年度目標	R8年度目標	R9年度目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/t	21.6	令和6年度比1%削減	令和6年度比2%削減	令和6年度比3%削減
廃棄物排出量削減	kg/t	0.619	令和6年度比1%削減	令和6年度比2%削減	令和6年度比3%削減
再製作品発生件数の削減	件/月	16	令和6年度比1%削減	令和6年度比2%削減	令和6年度比3%削減
水使用量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.0259	令和6年度比1%削減	令和6年度比2%削減	令和6年度比3%削減
地域環境活動	回/週	1回/週	1回/週	1回/週	1回/週

## VIII.環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係機関等からの指摘利害関係者からの訴訟や苦情も創業以来ありません。

当社に適用される環境関連法の遵守状況	
法律名等	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	問題なし
自動車リサイクル法	問題なし
消防法	問題なし
フロン排出抑制法	問題なし
浄化槽法	問題なし

## IX.代表者による全体評価と見直し結果・指示

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量とも未達となりました。

目標未達の原因の1つに排出係数の見直しがあります。

実態を踏まえた上で基準年度の変更をし、そこからの目標を立て直すことも考えて良いと思います。従前から当社は人をかけて手間をかけて行う仕事が多いため人員を増やしています。

新しく入った日本人やインドネシア人の人たちに環境経営方針及び行動指針を周知してもらい、「未来の地球の為に」と「利益の向上の為に」という意識を持ってもらってください。